

図画工作部会

研究主題 みずみずしい感性と、しなやかな造形思考を求めて
～生き生きと思いを表現できる子どもの育成～

1 主題について

今年度は、個性を生かした多様で創造的な活動を促し、造形活動の基礎的な能力を育成し、児童一人一人の思いを生き生きと表現させる支援の在り方を研究するために、本テーマを設定した。

2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
4月11日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	10月31日	第2回総合研究会 授業研究会（花岡小学校）
9月19日	指導案検討会（花岡小学校）		

3 研究内容

(1) 授業研究

- ・期 日 平成25年10月31日（木）
- ・会 場 花岡小学校
- ・単元名 4年「動きを形に」
- ・授業者 甲森 匡一

① 授業者から

- ・学級全員で「鬼ごっこをしている場面のジオラマをつくる」という最終目標に向かって、役割分担を考え、互いにアドバイスしながら作りあげていきたいと思った。
- ・今回は、動きのある形を表現させることをねらいとしたので、4年生ではあまり使わない針金の芯材を使ってみた。重量に負けずにつくることができると考えたが、4年生にとってやはり難しかったようだ。
- ・作品に子どもの思いが表れていればよしと考えるべきか、体の動きという部分を考えると、写実性をどの程度求めるべきか悩んだ。
- ・本授業では、互いにアドバイスし合う場面が多かったが、話すことに慣れていない児童もいるので、今日の授業をきっかけとして今後も言語活動を取り入れていきたいと思う。

② 協議

- ・グループでかかわりあいをもち、話し合わせたことはよかったが、その子の思いが作品のどの部分に表れているかが分かりにくいので、見て欲しい部分に付箋を付け、その部分について話させるとよかった。
- ・その子の思いを言葉にするとき、授業で使った写真説明の中にあつた「ねじれ」や「傾き」等という言葉が、掲示物としてあつたらもっと話しやすかったと思う。
- ・作品づくりの時間が少なかった。言語活動も大切だと思うが、もっと作品づくりに没頭させたかった。



【グループでの話し合い】

- ・ペアでの話し合いがほとんどだったが、グループ内で話し合うことで、全体としてのバランスがとれたと思う。また、途中の作品を写真に撮り針金の線を入れ、鬼ごっこをしているときの写真と比べてみると、どう直したらよいか分からなかった子どもも、自分の作品に生かせたと思う。
- ・本題材のねらいからすると、芯材が不可欠だと思う。この後紙粘土を付けて完成となるが、満足感を味わわせて終わらせたい。

(2) 指導助言（嘉藤 貴子 指導主事）

- ・今回は針金を支えとして考え、授業者の意図する「動きのあるものをつくらせたい。」というねらいがあり「思いを表す」という捉えだったが、写実の表現に傾いてしまった。
- ・始めにみんなで遊び、グループでかかわり、全体で飾るというゴールが見えている。かかわりの生まれるよい題材なので、手立てをもう少し工夫するとよい。表したい思いから、それをどう実現していくか、つくり出す喜びや表したいことを膨らませるためにどうしたらよいかを第一に考えるとよい。
- ・遊んだときの写真が子どもたちの手元にあった方がよかった。
- ・話し合い活動は、自分の考えを深めるが、手を動かし作業させる中で試行錯誤する時間を保障した上で行いたい。
- ・つくる時間をもっと確保するために、例として一体を見せ「どうすればいい？」と問いかけ、活動の手がかりが分かるようにすればよかった。
- ・実際に鬼ごっこができたり、動いたりできる場の設定は、とてもよかった。

(3) 実技研修会

- ・今回は、実際に指導した作品を持ち寄り、導入の仕方や描かせ方、日頃悩んでいることなどを出し合い情報交換した。後半は指導主事からの講義で、「この題材は何の力を付けるためにやるのか」「今の子どもたちにあっている題材か」ということを考え題材研究をする事や学習指導要領の何の力を付ける題材かを考える事が大切だというお話だった。また、絵を描くとき、遊んでみたり触ってみたりにおいをかいてみたりという五感を働かせることで、捉え方が変わる事も教えていただいた。



【実技研修風景から】

4 成果と課題

(1) 成果

- ・生き生きと思いを表現し、子ども同士がかかわりながらつくりあげる題材設定であった。
- ・表現したいことを文章で書いたり、途中経過として写真を残しておいたりする事で、その子の思いや工夫を見取ることができる。

(2) 課題

- ・題材とそのねらいについて発達段階の考慮は大切である。
- ・よりよい作品づくりに向かうための言語活動の時間と作品に触れ試行錯誤する時間のバランスのとれた指導方法について、今後も研究を深めたい。
- ・図画工作科で子どもたちに使わせたい言語を増やすための工夫や支援の在り方が難しい。